

茨木市議会議員(無所属)



あびこ浩子 ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台1 2-503穂積台グランドコーポ

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：<http://www.hiroko-abiko.jp>



11月も最終週に、12月議会の準備中です
=2025年大阪万博開催決定=

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

気が付けば11月もいよいよ終わり、12月を迎えます。只今、12月議会の準備中です。12月議会では、茨木市教育長の任命、茨木市教育委員会委員の任命、茨木市監査委員の任命、などの人事案件から、一般職の職員給与条例の一部改正、市民会館跡地エリアに関して、「市民会館跡地エリア政治事業者候補者選定委員会」の設置条例、上野町地区計画、茨木市福祉文化会館・茨木市市民総合センター、茨木市立体育館・中条市民プール・五十鈴市民プールの指定管理者、茨木市東体育館、茨木市保健医療センター・茨木市子ども健康センターの指定管理者の指定、元市民会館及び人口台地他解体工事の工事請負契約締結について、一般会計補正予算などが挙がっています。一般会計補正予算では、市民会館跡地エリア整備事業として「市民会館跡地エリア整備事業の事業者募集に向け、事業者に提示する要求水準書や募集要項等の作成に係る支援事業を委託」することに1870万円計上されています。それ以外には小中学校のプールフェンスの改修で、小学校3億686万9千円、中学校7759万6千円、な災害復旧のさらなる内容も多く含まれています。まだ残っている災害復旧には一日も早く手立てが講じられますようにと考えています。

2025年大阪万博の開催が決定しました。決定の瞬間を私もテレビで見っていました。アゼルバイジャンかロシアかと思いながら、一回目でもリードし二回目で、最終的に決定した瞬間は、東京オリンピックが決定した時を思い出しました。2020年の東京オリンピック後に新たに取り組む大きな事業がもたらされたわけです。この大阪が世界にその存在をアピールできる機会でもあります。経済効果は2兆円と報道もあります。周辺市である茨木市にどのような影響が出るのかはまだわかりませんが、少しでも私たちにとって活気あるまちづくりにつながることを期待します。1970年の大阪万博の時は小学生でした。阪急茨木市駅・JR茨木駅が改修され駅前ロータリーが出来たのを覚えています。盆踊りの曲に三波春夫さんの「こんにちは〜♪」から始まる「世界の国からこんにちは」の歌が流れていました。踊りの振りは忘れましたが。

全国市議会議長会研究フォーラムにて

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事/2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆茨木市穂積台 在住

あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460(留守時はメッセージをお願いいたします。)

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP : http://www.hiroko-abiko.jp

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko_h(あびこ浩子(茨木市議会議員))



お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！



会派視察(川崎市・調布市) 参加してきました<PART 2>

市民会館跡地エリア活用基本計画(案)について

市民の皆様の関心が高い「市民会館跡地エリア」の進捗状況ですが、跡地エリアの基本構想がまとめられ、基本計画の策定が進められています。皆様からお寄せいただく声として「ホールの広さ」や「ホール環境」また会議室が減っていることから「会議室」が欲しいということや、市民会館ドリームホールが使い勝手が良かったということで「平土間ホール」が欲しいということなど。これらの皆様の声が少しでも計画に反映されるようお声を届けていきます。現在ではホールの客席数について、アンケート調査などから、800席～1200席の利用可能なものという意見が多く、それらの意見に基づいて設計へと進められていくようです。

今後の進め方ですが、解体工事が始まります。竣工までには、まだ時間がかかりますがおおよそ2022年3月をめどとされています。あと4年で、その後の公園整備も含むとさらにかかります。



会派視察(茨木みらいの会)3名で、川崎市と調布市の行政視察に行ってきました。

先週に引き続き、会派視察のご報告をいたします。今回は調布市での視察内容をご報告いたします。

調布市での視察テーマは、「調布市住宅確保要配慮者相談窓口設置事業」についてです。私は議会質問で茨木市の住宅政策について、何度か取り上げてきました。ハード面だけでなく、ソフト面でのサポートが必要だと考えているからです。介護保険の制度説明でも一番に挙げられているのが「住まい・住まい方」という表現です。住まいがあってこそ、生活の安定があり、支援制度を受けられるのです。当たり前のことですが、その当たり前を手に入れることが難しい状況に陥られる場合があります。そこを支援するために「住宅確保要配慮者相談窓口設置事業」が行われています。茨木市では、6月18日の大阪府北部地震の影響で、住んでいる場所が住めなくなり、転居先を探すにあたり、高齢者の単身であること、母子家庭であること、障害があることなどで転居先を探す時に苦労した方がおられます。住宅を貸す側である大家さんや仲介している不動産屋さんなどからすると、緊急の場合の連絡先やもし孤独死された場合には後をどう対応するかなどの不安があり、貸し渋りがおこります。借りる側からすると住まいが無いと生活が成り立ちません。その相談窓口である「住宅確保要配慮者相談窓口」を設置すること、市の単独で居住支援協議会を立ち上げ不動産会社や家主さんたちと協議する場を持つことなど、茨木市でも是非取り組ん欲しいと思います。

毎週火曜日・木曜日の朝、JR茨木駅西口下、水曜日の朝、南茨木駅、金曜日の朝、阪急茨木市駅東口南側にてご挨拶と週刊通信を配布させていただいています。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただければ幸いです。お声をかけていただけたらとても嬉しいです！

